

高活協通信(2023年1月号)

発行：一般社団法人 高齢者活躍支援協議会

<http://www.genomics.org>

◆◆◆高活協ニュース◆◆◆

■お知らせ

- 高活協が参加している東京大学高齢社会総合研究機構主催の高齢者地域就労研究準備会が開催されました。
- 今月から、「70歳就業法」関連情報欄のタイトルを、「定年後の仕事」関連情報欄に変更しました。今月の内容は、引き続き“連載「高齢者はどんな仕事をしているのか」”の第3回目を掲載しています。
- 高活協通信「今月の一冊」は、「67歳の新人～^{かくさい}ハン角芥短編集～」です。
- 高活協ホームページを更新しました。
 - ・「高活協ホームページ」のURLは以下の通りです。
<http://www.genomics.org>

高活協は会員の皆様に毎月1回「高活協通信」を配信させていただいております。この通信活動を会員の皆様と高活協とのコミュニケーションの機会とさせていただきたく考えております。つきましては、皆様のご意見や提供したい話題などがございましたら、本配信メールへの返信にてお寄せいただければ幸いです。

■2022年12月の主な活動

- 高活協は現在、シンポジウムなど人が多く集まるイベント活動を自粛しております。ただし、少人数の会議やZOOM等を利用したオンラインの会議・イベント等は新型コロナの感染状況を睨みながら適宜実施しております。
- 2022年12月5日、高活協が参加している東京大学高齢社会総合研究機構主催の高齢者地域就労研究準備会が開催されました。研究準備会には高齢者の地域就労促進に取り組む複数の自治体が参加し、それぞれの自治体の取り組み状況などが紹介されました。また研究準備会では、今後とも地域間や関係者間の情報交換を活発化させ、高齢者が地域で就労等を通じて活躍できる環境整備のあり方について議論していくこととしました。
- 「定年後の仕事」関連情報欄では、連載で「高齢者はどんな仕事をしているのか」を掲載していますが、高齢者の仕事を俯瞰するために必要となる「高齢者の仕事の分類」に関する検討を行いました。
- 高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ページにおいて、「高活協通信(2022年12月号)」を掲載しました。
- 2022年12月、生涯現役社会の実現に向けた行政や企業などの動向に関する情報収集を行いました。なお、「◆◆◆生涯現役社会の実現に向けてートピックス◆◆◆」のコーナーでは、「定年後の仕事」関

連情報”を適宜掲載していきます。

◆◆◆高活協主催/共催イベントの紹介◆◆◆

■これまで高活協が主催した(共催含む)イベントの報告書/記録集

過去に高活協が主催・共催したイベント(シンポジウム、セミナー/フォーラム)の報告書や記録集は、高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ボタンをクリックしてご覧になれます。(ホームページは下記 URL)

<http://www.agenomics.org/>

◆◆◆高活協会員関連イベント等のご紹介◆◆◆

会員のご希望があればご紹介記事を適宜掲載させていただく予定です。

◆◆◆生涯現役社会の実現に向けて ― トピックス◆◆◆

生涯現役社会は、「職業寿命」「社会活動寿命」「健康寿命」「資産寿命」という 4 つの寿命の延伸が相乗効果をもたらす社会、すなわち「それぞれの寿命の伸びが相互に他の寿命も伸ばす」という好循環がもたらされる社会です。そんな生涯現役社会の実現に向けた最近の動きを紹介していきます。

■厚生労働省 ― 令和 4 年「高年齢者雇用状況等報告」の集計結果を公表

2022 年 12 月 16 日、厚生労働省より令和 4 年「高年齢者雇用状況等報告」(2022 年 6 月 1 日現在)の集計結果が公表されました。これは、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」が企業に求める雇用や就業に関する措置の実施状況を集計した結果です。

法律で義務化されている 65 歳までの高年齢者雇用確保措置を実施済みの企業はさらに増え、大企業、中小企業とも 99.9%に達し、ほぼ全企業が実施済みとなっています。今回その措置の内、唯一継続雇用制度の導入企業が減少していますが、これは「60 歳定年後の継続雇用制度」を「65 歳定年制度」に切りかえた企業があったためと思われます。現に65歳定年制度導入企業は増加しています。

また高年齢者就業確保措置(70 歳までの努力義務)に関しては、66 歳以上まで働ける制度のある企業は増加しています。ただし、定年廃止企業は増えておらず、やはり企業は定年廃止にまで踏み切ることは躊躇しているように思われます。

詳細は厚生労働省の URL(下記)をご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29133.html

■定年後の仕事 ― 生きがい(社会貢献など)と健康維持(フレール予防など)を兼ねた就業

○2021 年 4 月から施行された「70 歳就業法」では、定年後の継続雇用だけではなく、継続的な業務委託や

社会貢献活動への支援といった措置も選択肢になっており、高齢者の多様な働き方を後押ししています。○今後このトピックスのコーナーでは、「定年後の仕事」に関連した情報を適宜掲載していきます。高齢者の就業を考える際の参考にしていただければ幸いです。

11月号から「**高齢者はどんな仕事をしているのか**」といったテーマについて連載しています。連載第3回目の今月号では、**高齢者の仕事を俯瞰するための職業分類(仕事の分類)**について考えてみたいと思います。

求人・求職のマッチングをサポートするためにハローワークで使われているのが、厚生労働省の職業分類表です。職業分類表には別に総務省の日本標準職業分類表(大分類=11、中分類=74、小分類=329)がありますが、こちらの分類表は統計データを取ることを主目的にしており、求人・求職のマッチングを考えるには厚労省の職業分類表をベースにするのが適切かと思われます。

ただし、これまでの厚労省の職業分類表は、大分類=11と中分類=73のレベルでは、総務省の職業分類表と一致させ、小分類=369でも一部補正以外は原則として総務省の分類表に準拠させていました。また厚労省の分類表では、これまで細分類=892のレベルまでブレイクダウンされており、細分類のレベルで初めて厚労省独自の分類を行っていました。すなわち職業紹介業務における求人・求職の取扱件数などを考慮してその上位のレベルである小分類をさらに細分化していました。

しかし去年10年ぶりに改正された厚労省職業分類表では、大分類を15に、中分類を99に、小分類を440に改編し、細分類を廃止しました。これは職業分類表を簡素化すると同時に、求人・求職のマッチングを旧来より意識した改編ではないかと思われます。

厚生労働省職業分類表(旧大分類=11)

- 1、 管理的職業
- 2、 専門的・技術的職業
- 3、 事務的職業
- 4、 販売の職業
- 5、 サービスの職業
- 6、 保安の職業
- 7、 農林漁業の職業
- 8、 生産工程の職業
- 9、 輸送・機械運転の職業
- 10、 建設・採掘の職業
- 11、 運搬・清掃・包装等の職業

厚生労働省職業分類表(新大分類=15)

- 1、 管理的職
- 2、 研究・技術の職業
- 3、 法務・経営・文化芸術等の専門的職業
- 4、 医療・看護・保健の職業
- 5、 保育・教育の職業
- 6、 事務的職業
- 7、 販売・営業の職業
- 8、 福祉・介護の職業
- 9、 サービスの職業
- 10、 警備・保安の職業
- 11、 農林漁業の職業
- 12、 製造・修理・塗装・製図等の職業
- 13、 配送・輸送・機械運転の職業
- 14、 建設・土木・電気工事の職業
- 15、 運搬・清掃・包装・選別等の職業

さて、高齢者の仕事の分類を考えると、確かに厚労省の職業分類表はあらゆる職業を網羅しており、大いに参考になると思います。しかし、この分類表はあくまで現役世代の就業に重点を置いたもので、定年後の高齢者の就業という視点からの分類表にはなっていないと思われます。

ところで高齢者向けの職業分類表らしきものとしては、シルバー人材センターの仕事分類表がありますが、シルバー人材センターの仕事には就業時間や地域、職種などに制約があり、その分類表をそのまま全国共通の標準的高齢者向け仕事分類表として使えるかどうか検討する必要があります。連載第 4 回の来月号では先ずシルバー人材センターの仕事の分類について見てみたいと思います。

◆◆◆読み物コーナー◆◆◆

■今月の 1 冊

人生 100 年時代を迎え、シニア層の増加を意識した書籍が増えているようです。このコーナーでは、高齢者の就労に関わるテーマや高齢者の社会参加、ライフスタイル、健康問題などを取り上げている書籍を紹介します。

書 名:67歳の新人～^{かくさい}ハン角齊短編集～

著 者:ハン 角齊

出版社:小学館

(URL <https://shogakukan-comic.jp/book?isbn=9784098614127>)

定 価:715 円(税込)

今回は、久し振りにマンガを取り上げます。マンガといっても、以前に紹介した『傘寿まり子』のように高齢者が主人公(主人公のまり子は高齢の小説家)として活躍するマンガではありません。67 歳という年齢で、念願の単行本デビューを果たしたマンガ家の作品ということで取り上げました。

作者のハン角齊さんは、生まれも育ちも北海道(“はんかくさい”とは北海道の方言で「ばかげた。あほらしい」という意味)。現在も北海道の十勝地方で暮らしているそうです。手塚治虫の影響で、小学 1 年生のころからマンガ家になるのが夢でしたが、「画力が伸びずストーリーも全く作れず」、いつしかマンガ家になる夢が潰れてしまいます。その後、生活のために柔道整復師の資格を取り、整骨院を開業。ところが、この整骨院もお客さんの数が少なく、暇を持て余すことに。そこで 45 歳にして一念発起、再びマンガ家を目指すことを決意しました。それ以来、20 回以上も新人賞コンテスト落選を重ね、気が付けば 60 代に至ったということです。そして、ようやく 64 歳のときに本書に収められている短編のひとつが「ビッグコミックスペリオール」の新人賞を受賞し、マンガ家デビューという念願がかないました。

本書には、6 つの短編が収められています。どの作品も、決して「明るく楽しいマンガ」ではありません。女性にまったく縁がない男、末期のがんで余命宣告を受けた男、犯罪で娘を奪われた母親、顔にあざがある少女など、さまざまな困難を抱えた男女が主人公のストーリーです。絵柄も、親しみが持てる現代風ではあり

ませんが、どの作品も意外なストーリー展開があり、不思議と印象に残ります。紆余曲折の人生を経て、60代で念願を果たした作者の思いが込められている作品といえるような気がします。作品全体から、年齢を重ねても、描くことをやめなかった作者の執念を感じることができるのではないのでしょうか。

(個人賛助会員:坂巻 大)

■高齢者雇用の総合誌『エルダー』2023年1月号(2023年1月1日発行)のご紹介

発行:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

<http://www.jeed.go.jp/elderly/data/elder/index.html>

<特集>70歳雇用実践企業に聞く!

新春座談会 70歳雇用実践企業に聞く!

株式会社京葉銀行/TIS株式会社/トラスコ中山株式会社/玉川大学教授 大木栄一氏

解説 70歳雇用の現状と導入するうえでの留意点

人事労務コンサルタント・社会保険労務士 所長 二宮 孝

<連載>

○リーダーズトーク(No.92)

一般社団法人日本メンタルアップ支援機構 代表理事 大野萌子さん

○江戸から東京へ 作家 童門冬二(第122回)

「改革」は「勇氣」の別名 上杉鷹山

○高齢者の職場探訪 北から、南から(第127回)

岡山県 株式会社英田エンジニアリング

○生涯現役時代の高齢社員活躍支援のポイント 森中謙介(最終回)

常に状況を確認しながら制度の見直しを!

○知っておきたい労働法 Q&A(第56回)

定年後の継続雇用の拒否、休日の移動をとまなう出張と労働時間

○活き活き働くための高齢者の健康ライフ 坂根直樹(第2回)

コロナが重症化する人は?

○いまさら聞けない人事用語辞典(第31回)

年功序列

○特別寄稿 中高年(40~59歳)非正社員のキャリア設計と企業の人事管理

玉川大学 経営学部 教授 大木栄一

○日本史に見る長寿食(vol.350)

セリを味わい春を待つ
